



▲起工式で行われた「くわ入れの儀」の様子

市役所本庁舎では現在、建て替えに向けた工事が進められています。令和5年9月から先行解体工事が始まり、現本庁舎低層棟、議会棟、噴水広場等の解体が完了。新本庁舎の建設が始まるのを前に、8月26日、第1期工事（令和9年度まで行われる、新本庁舎本体部分の工事）の起工式が旧議会棟前で執り行われました。式典には工事関係者ら約40人が出席し、工事の安全を祈願しました。

市政トピックス

仙台市役所本庁舎整備第1期工事の起工式が行われました



赤間凛音選手(中央)



張本美和選手(左から2番目)

市政トピックス

赤間凛音選手・張本美和選手に「賛辞の楯」を贈呈

パリ2024オリンピック競技大会に出場し、見事銀メダルを獲得したスケートボード女子ストリーートの赤間凛音選手と、卓球女子団体の張本美和選手の功績をたたえ、それぞれに「賛辞の楯」を贈呈しました。

8月9日、本市泉区出身で、現在も市内の高校に通う赤間選手への贈呈式を実施。会場には、メダル獲得後に泉区役所に設置され、市民の方々からの祝福のメッセージが書き込まれた旗も展示されました。赤間選手は「仙台市に銀メダルを持って帰ってくるのができてうれしかったです。」と喜びを語り、市長は「世界ランキング2位というプレッシャーの中で素晴らしい演技を見せてくれた」と健闘をたたえました。



▲市民の皆さんから赤間選手への祝いの旗が寄せられた

市政トピックス

「賛辞の楯」を贈呈

9月17日には、卓球女子団体で銀メダルを獲得した本市出身の張本選手に「賛辞の楯」を贈呈。張本選手は「皆さまの応援のおかげで銀メダルを獲得することができました。4年後のロサンゼルスオリンピックに向けてまた頑張ります」と笑顔を見せました。お二人には、それぞれ「仙台市議会議長特別表彰」の授与も行われました。

市政トピックス

青葉山エリアの複合施設基本設計業務受注候補者を選定

せんだい青葉山交流広場に整備する「音楽ホール」と「中心部震

市政トピックス

行財政改革の取り組みを進めています

市では、行財政改革や市民協働組織力向上などの取り組みを着実に推進するため、令和4年3月に「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」を策定しました。市の目指す姿として、「未来世代に責任ある財政運営」「想定外の危機をしなやかに乗り越える組織」「デジタル化によるサービスと組織のアップデート」「協働による新たな価値の創発」「働く場として選ばれる組織」の5つを掲げ、歳入増加や歳出見直し等の取り組みを行っています。このたび令和5年度の実績がまとまり、取り組みの効果額は約50億円となりました。今後も、市のさまざまな施策を支える行財政改革の取り組みを推進していきます。

◎「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」の実績は、市役所本庁舎2階市政情報センター、宮城野区・若林区・太白区情報センター、市ホームページでご覧いただけます

市政トピックス

障害のある方が制作した芸術の世界へ

8月29日から9月1日までの4日間、障害のある方の芸術活動の普及と振興を目的に、「Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2024」がせんだいでアイデアテックで開催されました。これは、平成27年から毎年開催している「Art to You! 東北障がい者芸術全国公募展」が10周年を迎えるに当たり、作品募集エリアをこれまでの日本国内から世界中へと広げ、名称を新たにしました。



▲絵画や工芸など、個性あふれる作品が来場者を楽しませていました

災メモリアル拠点」の複合施設について、9月8日、日立システムズホール仙台で、基本設計業務委託に係る公募型プロポーザルの最終審査を実施しました。最終審査には、参加表明をした77者のうち、1次審査および2次審査を通過した5者が出席。公開プレゼンテーションとヒアリングを経て、基本設計業務の受注候補者に「株式会社藤本壮介建築設計事務所」を選定しました。今後、契約締結に向けた協議を行います。

この作品展では、障害のあるアーティストが制作した絵画、工芸などの芸術作品を募集。今年是国内から1260作品、アメリカやウクライナ、韓国、台湾など、海外から163作品の応募がありました。会場には、6月に行われた第1次審査会で入選した135作品（うち海外作品は19作品）を展示。最終日の9月1日には、内閣総理大臣賞などを受賞した作品の表彰式も行われました。来場者の投票で決定する「オーディエンス・仙台市長賞」には、佐久間智之氏の作品「人々 憩いの峠」が選ばれ、郡市長が賞状を授与しました。

3.11 震災文庫を 74 読む



絵本/作 森田尚令/ 絵 岩崎書店 刊

東日本大震災により、福島の子力発電所は大きな被害を受け、そこに住んでいる人たちの生活にも大きな影響をもたらしました。



絵本/文 葉祥明/ 絵 葉成俊 刊

東日本大震災を体験した1人の少年からの聞き取りを基に描かれた絵本で、幼い少年が初めて経験する強い地震の揺れと津波の恐怖、家族と離れ離れになって独りぼっちで不安な夜を迎え、そして家族と再会することになります。この体験を通して、少年は「希望の光」を見つけます。

文中の「売れない牛を生かす」という言葉が印象的。被災した牛の命を懸命に守っている人々の姿が描かれています。この絵本は、被災した牛の命を懸命に守っている人々の姿が描かれています。この絵本は、被災した牛の命を懸命に守っている人々の姿が描かれています。

●紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585